

## 福井県におけるウスイロコノマチョウの採集記録

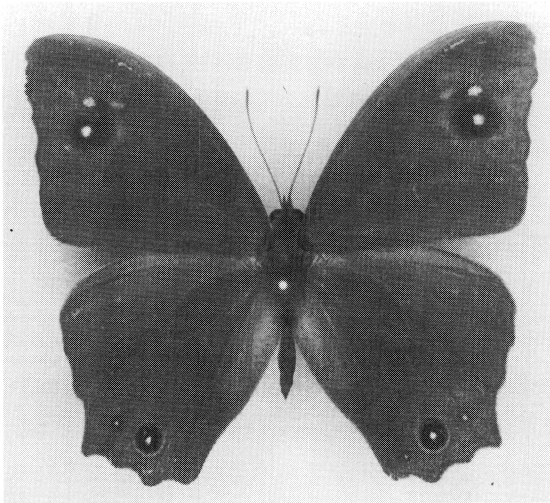
和田 茂 樹\*

福井県でウスイロコノマチョウ *Melanitis leda leda* Linnaeus を採集したので報告する。報告に先立ち、文献収集、標本写真撮影の労をとって頂いた長田勝氏、ウスイロコノマチョウの生態等について御教示頂くとともに、今回の発表をお勧め頂いた下野谷豊一氏にお礼申し上げる。

### 採集記録

大飯郡高浜町和田 : 3♂, 4. IX. 1998 ; 1♂1♀, 11. IX. 1998 ; 2♂, 28. IX. 1998 ; 南条郡河野村河野 : 1♀, 9. X. 1998 (採集個体はすべて夏型)

本種は、国内では奄美諸島以南の南西諸島および小笠原諸島に生息し、現在のところ本土では定着が確認されていないが、台風や季節風などの気流に乗り生息地を遠く離れた地域まで飛来することがあり、そのような個体が迷蝶として国内各地でしばしば採集されている。福井県でも、過去に坂井郡金津町旭で1♂が採集されている(白井, 1969) ほか若干の記録があるようであるが、今回のように短期間のうちに複数個体が採集されたのは初めてではないかと思われる。



♂, 大飯郡高浜町和田, 1998年9月4日採集

\* 〒918-8004 福井市西木田 3-8-18

高浜町和田では水田地帯に面した林縁で黄昏飛翔が観察され、飛翔時間は9月4日で午後6:20～6:30、9月11日で午後6:10～6:20、9月28日で午後5:45～6:00ぐらいで(3日とも天気は曇りないし晴れ、明け方の観察は行っていない)、日没後薄暗くなってから出現し、10分前後活動を続けた。オスは林縁を素早く飛翔し、時折、周囲よりやや高く突き出た草の葉上や、農道上に静止するのが観察された。メスは、ちょうどオスが飛び始める頃に刈り入れ後の水田上を低く飛翔し、高さ15cmほどに生え揃ったイネにまわりつくように飛翔するのも観察された。9月11日、9月28日には採集した個体のほかにも少数を目撃しているが、10月6日には快晴であったにもかかわらず1頭も見られなかった。一方、河野村河野では林縁の畑上を弱々しく飛翔していた1♀を日中に採集したのみで、黄昏時の状況など詳しいことはわからない。

今回の採集個体のうち、高浜町和田のものに限って言えば、ある程度まとまった個体数が同じ地点で継続的に見られたこと、かなり新鮮な個体も採集されたことなどから、恐らく同地周辺で羽化した個体であることは間違いないと思われる。これらの発生をもたらした母蝶がどこで越冬をし、この地で産卵をするに至ったかは定かではないが、今回これだけまとまった個体数が得られたことから、本種の越冬地が従来考えられていた南方の島嶼地域のみならず、本土の太平洋側などにまで北上している可能性もあるのではなからうか。近年、福井県内でもナガサキアゲハが採集されるなど(下野谷, 1993)南方種の北進現象がみられ、ウスイロコノマチョウの場合も、何らかの要因で福井県内に侵入しやすくなった可能性もある。今後、同属のクロコノマチョウも含め、これら南方種の動向には十分注意を払う必要があるだろう。

## 文 献

- 猪又敏男. 1990. 原色蝶類検索図鑑. 184pp, 北隆館.
- 白井昭義. 1969. 福井県でウスイロコノマチョウ. 昆虫と自然, 4(11):34.
- 下野谷豊一. 1971. 福井県における未記録の迷蝶, 2種について. 福井市立郷土自然科学博物館博物同好会会報, (18):47.
- . 1993. 福井県三方郡三方町で見つかったナガサキアゲハ. 福井市自然史博物館研究報告, (40):90.
- 和田茂樹・長田勝. 1994. 福井市末町で再びクロコノマチョウを採る. 同上, (41):88.